

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和6年7月30日(2024.7.30)

【公開番号】特開2023-25557(P2023-25557A)

【公開日】令和5年2月22日(2023.2.22)

【年通号数】公開公報(特許)2023-035

【出願番号】特願2021-130872(P2021-130872)

【国際特許分類】

D 0 6 F 58/10(2006.01)

10

F 2 6 B 9/00(2006.01)

D 0 6 F 58/00(2020.01)

【F I】

D 0 6 F 58/10 Z

F 2 6 B 9/00 Z

D 0 6 F 58/00 Z

【手続補正書】

【提出日】令和6年7月22日(2024.7.22)

20

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

実施形態の洗浄乾燥機は、マット状部材の洗浄、乾燥および冷却を行う洗浄乾燥機であって、洗浄乾燥空間が形成される筐体と、前記洗浄乾燥空間に乾燥風を供給する給気部と、前記乾燥風が通過可能な載置面を有して、この載置面に前記マット状部材を載置するマット載置部と、前記載置面を通過した前記乾燥風を前記洗浄乾燥空間の外部に排出する排気部と、前記マット状部材に向けて水蒸気を噴霧する蒸気噴霧部と、を備える。

30

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

実施形態のマット状部材の洗浄乾燥方法は、マット状部材を洗浄乾燥空間に収容して、給気部から乾燥風又は冷風を供給して、前記マット状部材の洗浄、乾燥および冷却を行うマット状部材の洗浄乾燥方法であって、前記給気部から前記洗浄乾燥空間に前記乾燥風を供給して予熱する予熱工程と、蒸気噴霧部から水蒸気を噴霧して前記マット状部材を洗浄する洗浄工程と、前記給気部から前記洗浄乾燥空間に前記乾燥風を供給して前記マット状部材を乾燥する乾燥工程と、前記給気部から前記洗浄乾燥空間に前記冷風を供給して前記マット状部材を冷却する冷却工程と、を有する。

40

【手続補正3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

50

マット状部材の洗浄、乾燥および冷却を行う洗浄乾燥機であって、  
 洗浄乾燥空間が形成される筐体と、  
 前記洗浄乾燥空間に乾燥風を供給する給気部と、  
 前記乾燥風が通過可能な載置面を有して、この載置面に前記マット状部材を載置するマット載置部と、  
 前記載置面を通過した前記乾燥風を前記洗浄乾燥空間の外部に排出する排気部と、  
 前記マット状部材に向けて水蒸気を噴霧する蒸気噴霧部と、  
 を備える洗浄乾燥機。

【請求項 2】

前記蒸気噴霧部は、前記マット状部材に密着した状態で前記水蒸気を噴霧する請求項 1 10  
 に記載の洗浄乾燥機。

【請求項 3】

前記蒸気噴霧部は、前記給気部または前記洗浄乾燥空間に向けて前記水蒸気を噴霧する請求項 1 又は 2 に記載の洗浄乾燥機。

【請求項 4】

前記給気部、前記排気部、および前記蒸気噴霧部を制御する制御部を備え、  
 前記制御部は、

前記蒸気噴霧部から前記水蒸気を噴霧するときに、前記給気部と前記排気部による温風給排気を休止する第一洗濯乾燥モードと、

前記蒸気噴霧部から前記水蒸気を噴霧するときに、前記給気部と前記排気部による温風給排気を同時に使う第二洗濯乾燥モードと、  
 を有する請求項 1 に記載の洗浄乾燥機。

【請求項 5】

マット状部材を洗浄乾燥空間に収容して、給気部から乾燥風又は冷風を供給して、前記マット状部材の洗浄、乾燥および冷却を行うマット状部材の洗浄乾燥方法であって、  
 前記給気部から前記洗浄乾燥空間に前記乾燥風を供給して、前記洗浄乾燥空間および前記マット状部材を予熱する予熱工程と、

蒸気噴霧部から水蒸気を噴霧して前記マット状部材を洗浄する洗浄工程と、

前記給気部から前記洗浄乾燥空間に前記乾燥風を供給して前記マット状部材を乾燥する乾燥工程と、

前記給気部から前記洗浄乾燥空間に前記冷風を供給して前記マット状部材を冷却する冷却工程と、

を有するマット状部材の洗浄乾燥方法。

【請求項 6】

前記乾燥風はヒータからの温風であり、前記冷風は外気であり、  
 前記予熱工程では、設定した予熱時間、又は前記洗浄乾燥空間の内部温度が設定温度に到達するまで実行し、

前記乾燥工程では、前記洗浄乾燥空間の平均温度が設定範囲内に収まるように前記乾燥風が調整され、

前記冷却工程では、設定した時間の冷却、又は設定した温度以下の冷却が行われる請求項 5 に記載のマット状部材の洗浄乾燥方法。

【請求項 7】

前記洗浄工程では、排気ファンを間欠運転して、前記給気部から前記洗浄乾燥空間への前記外気の給排気を行う請求項 6 に記載のマット状部材の洗浄乾燥方法。

10

20

30

40

50